

入善町 議会だより

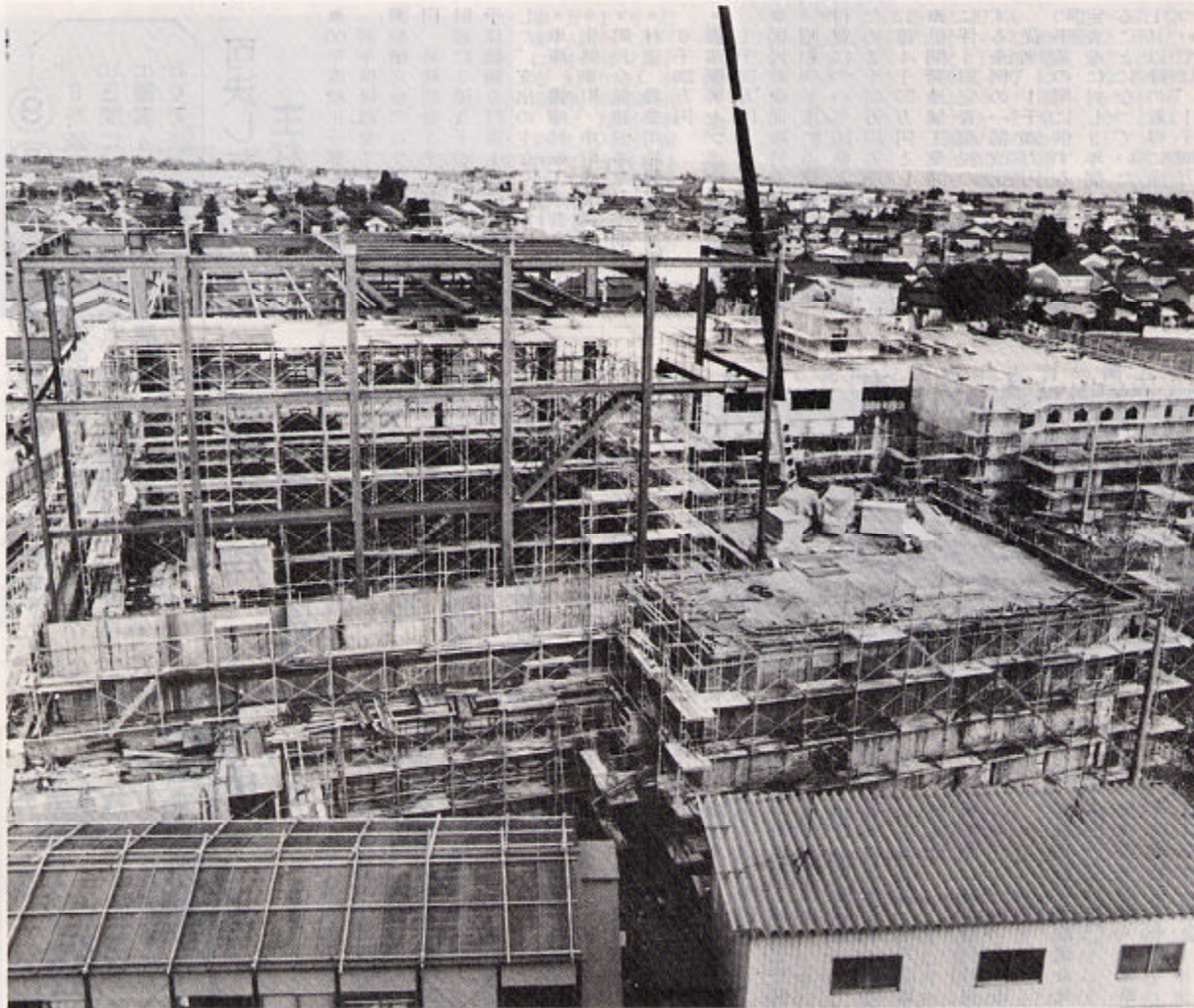
9月定例議会

№. 49号

発行所 入善町議会

編集 入善町議会だより編集委員会
富山県下新川郡入善町入膳3,255

☎ 0765 (72) 1100



完成間近い 町民会館

ページ案内

9月定例会で決定したこと	2ページ
決算特別委員会審査報告	3ページ
一般質問	4ページ～7ページ
常任委員会審査報告、臨時議会	8ページ

第28回 入善町9月定例会

3億3千522万円を追加し 一般会計77億1千67万4千円に！

9月定例会のあらまし

8期議員による最後の定例会は19日から28日までの10日間にあたり開催され、当局提出議案3件、議員提出議案4件、請願4件、陳情1件など審査し原案のとおり可決、採択した。

可決した 主な議案

- 60年度補正予算(第2号)
 - 前年度繰越金7千851万円や財政調整積立金の取り崩し1億9千9万円、県補助金3千400万円など主な財源に3億3千522万2千円追加し予算総額を77億1千67万4千円とした。支出の主なものでは
 - 車庫、書庫移転工事費8千万円
 - 街路東町、中町線改良3千万円
 - 町民会館建設事業6千400万円
 - 林道、農業用施設災害復旧6千200万円
 - 農業振興センター建設補助金1千150万円
- 国民健康保険特別会計補正予算
 - 昭和59年度の退職者医療療養給付費について国庫と精算返納するため2千477万円追加し予算総額を12億4千557万円とした。
- 低開発地地域工業開発促進法施行に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正
 - 従来、1千500万円をこえる製造の事業の用に供する設備投資の固定資産に対し3年間、課税免除することになっていたが、60年4月1日以降の取得に係る固定資産については、1千700万円とする。

採択された 請願・陳情

- ◇ 西入善駅南側町道(駅進入路)の本舗装に関する請願
- ◇ 上青小学校グラウンド夜間照明施設設置に関する請願
- ◇ 入善用水に隣接する地域開発に関する請願
- ◇ 上田、新和線の改良舗装に関する請願
- ◇ 特別養護老人ホーム有磯苑建設に伴う補助金の交付について陳情

人事

教育委員に前田郁子氏

現教育委員の脇坂悌治氏は60年9月30日に任期満了となるので、その後任とすることに同意した。

日	内容
7月8日	農免農道、林道開設事業起工式
"	北陸自動車道建設促進協議会総会
12日	愛知県吉良町議会視察来町
17日	町民会館建設特別委員協議会
22日	朝日、滑川間国道バイパス建設促進同盟会
23日	新川広域圏議会体育大会
24日	議会だより編集委員会
26日	新川広域圏議会 新川地区広域農道整備促進協議会総会
"	議員全員協議会
"	第26回入善町議会臨時会
29日	日中友好富山地方議員連盟総会
30日	東部議会議長会行政視察(小松市)
8月2日	産業建設委員協議会及び現地視察(町内)
5日	福井県丸岡町・兵庫県香寺町議会視察来町
6日	議員全員協議会
9月2日	決算特別委員会
"	北陸自動車道上越・朝日間建設促進協議会総会
3日	町村議会議員研修会
5日	議会運営委員会
12日	町民会館建設特別委員協議会
19日	議員全員協議会
"	第28回入善町議会定例会(初日)
20日	議会運営委員会
24日	議定会定例会(2日目)
25日	総務委員会
26日	文教厚生委員会
27日	産業建設委員会
28日	議定会定例会(最終日)
10月18日	町村議会議長会臨時総会
25日	地方議員連絡協議会
9月27日	決算特別委員会行政視察(小松市)
23日	決算特別委員会
20日	決算特別委員会
12日	決算特別委員会
9日	決算特別委員会
"	第27回入善町議会臨時会
"	決算特別委員会
"	決算特別委員会
"	決算特別委員会
"	決算特別委員会



議 会 日 誌

決算

自主財源の確保に向けて
努力されたい!!

特別委員会

委員長 西尾 三郎

審査報告

59年度入善町歳入歳出決算審査は、さる8月6日の臨時議会から9月2日まで慎重審議し9月定例議会で賛成多数で認定された。



審査の方針

町当局が議会議決を尊重し適正に予算を執行したか。また、その投資効果はどうか検討し、次年度以降の予算編成と今後の行政施策の方向を見い出すよう意見を付した。

総括意見

柚木町長は59年度予算編成及び町政執行の基本姿勢に四つの方針を持って臨んだ。

その第一に行政改革を挙げてきたが、行政審議会の三次にわたる提言がどのように生かされてきたか定かでないこと。

第二に健全財政の堅持を挙げているが準公債比率が前年14%から16%に、経常収支比率が前年13%から17%に上昇している。さらに

59年より職員の定年延長がされ人件費は増加していく。健全財政という言葉を安易に使うことなく議会と統一見解し歯止めの数値に立った財政運用に留意すべきだ。

第三に新総合計画の積極的推進であるが、59年は町民会館など多くの事業に着手した。しかし国の財政状況により高率補助のカットなど以後の計画実施には至難な面もある。今後自主財源確保のためどこに活路を見い出すか町長の政治手腕とされる。ところが、農・漁業の伸びが多く期待できない今日、都市計画事業の着手と相まった商業基盤の整備が必要だ。

第四に開かれた町政であるが、その確立をめざした情報公開制度の実施は高く評価するが、町政懇談会などについては開機民主主義

の原点に立ち返り議会と両輪となつた町民参加行政を進めるべきだ。

59年度 決算

単位：円

収 入	収入済額	支出済額	翌年度繰越額	
一般会計	6,707,140,274	6,337,215,692	369,924,582	
特別会計	国民健康保険	1,071,131,517	1,020,590,147	50,541,370
	老人保健医療	1,502,262,200	1,478,677,710	23,584,490
	簡易水道	22,460,973	15,489,867	6,971,106
	育英奨学資金	4,147,771	4,117,300	30,471
	土地取得	6,255,700	5,596,058	659,642
	分譲宅地	16,874,163	15,420,750	1,453,413
	墓地公園	9,382,106	8,835,050	547,056
	小計	2,632,514,430	2,548,726,882	83,787,548
	合計	9,339,654,704	8,885,942,574	453,712,130

の原点に立ち返り議会と両輪となつた町民参加行政を進めるべきだ。

一、武村福祉会館の利用と収益は年々減少している。性格を見直す必要がある。

一、国、県の補助金等多く期待できない現況、自主財源の確保に向けてその施策を何にするかアプローチ（近づくまでの道のり）すべきである。

一、各種審議会等数多く設置されているが、年間通じ開催されていないものもある。見直しの必要がある。

一、職員採用は財政バランスなどを見て中・長期的展望に立って考えるべきだ。

一、道路舗装率は59年末で61%である。完全舗装に向けて努力すべきである。

一、高収益のあがる他用途米対応が必要だが、良質米産地の名を汚すことのないよう指導されたい。

町政を問う

一般

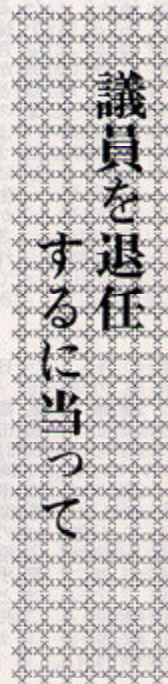
21世紀に向けての町のビジョンは？

質問

議員を退任するに当たって

上島 藤吉 議員（自民）

この議会で私の16年間の議会活動に終止符を打つ最後の議会となった。初めて議場の壇上に立って爾来、民主主義とは「もの」を言うことなりと大いに発言して参りそれがたとえ端脚の斧であろうと唯一途にそれが町民のためと思ひ発言して来た。良心に忠実な発言であり、また正論と信じて発言してきたが、今にして想えば不適当な発言や間違った発言もあり慚愧に耐えない。町長以下当局幹部には、今尚不快の念を持っておられると思うが、愛町一途に燃えての発言とお許しを戴きたい。さてこの16年、国の経済成長と共に我が入善町も目ざましい発展を遂げてきた。近代技術の粋を競う建築物が数々を越え、ほ場整備、町農道の舗装、中小河川の改修等繁栄を続けてきた。しかし現在ただ手離して喜んでおられない一面を持ち合せている。それは造った多くの建物、更に造らんとする建物の管理運営である。行政改革が一段と厳しさを増し、さらに電算化は好むと好まざるに拘らず行政改革を促進させるであろうし、一方定年延長は法の命ずるところである。従って両方円満にこなすことは難しい。また施設が出来れば人の張



新装なった飯野小学校

り付けは当然行われることだが、これは人件費の削減にはならず益々行政拡張の道を歩むことになる。言葉替えて言うならば権力拡張へと志向する事に相成る。また中曾根総理が防衛費GNP（国民総生産）の枠に苦しんでいるように我が町長は債務負担行為を入れて公債比20%の枠に苦勞されると思う。従って今後の行政運営は苦難の道を歩むものと見る。

◎国家の栄枯盛衰も民族の消長

も政治にあり、就中く（なにかんづく）教育はその中核を成すものと考え。従って右、左の思想、国家の如何を問わず為政者は教育を重視する処だ。このことは先日テレビを見てさらに強く感じた。それは韓国と北朝鮮の親子、兄弟の劇的な再会、対面の中で兄はキリストのお除で対面出来たとその喜びを語れば、弟がそれを否定して金日成首相のお除だと強調する。兄弟それぞれが自己の主張が正しいと信じ何等これに疑問を差し挟む余地すら持ち合わせていないのである。これは置かれた環境の違いをあざやかに証明しているの

広域行政構想を 考えるべきでないか

小林与三雄 議員（自民）

議員任期最後の定例会となり、今期を以て引退を決定している本員にとって最後の登壇として感無量であり、町民の皆様から心から感謝する。

さてあと15年経過すると21世紀が到来する。しからば21世紀に何を希望するか。「それは戦争のない平和な世界でないか」この願いが達成されるなら21世紀を輝かしい世紀として迎えることが出来るものと信じるが、しかし現実の問題として第一に豊かでゆとりある生活の出来る経済基盤が確立されな

あり教育のなさしめる偉大なる力をそこに見た。

◎我が入善町議会は常に甲論乙駁の真摯な論議が活発に戦かわされてきた。願わくば今後更に町民のために堂々と論陣を張り素晴らしい議会にして欲しい。

最後に改選に当たって立候補される議員、町長の御健勝と必勝を祈念し町長の答弁は不要とする。

町長

16年間に渡っての色んな思い出についてお話しを頂き、我々についても色々な示唆に富む意見を頂戴いたしこの機会に厚くお礼を申し上げます。

ければならない。9月17日が入善町の人口3万人となったが、57年度町民総所得額は8億8千289万円であり、町民1人当たり分配所得額は約66万円だ。富山県平均の229万円からして72%である。従ってこのままの状態では21世紀のより豊かさを保証することは出来ないといえる。

次に企業立地によって経済活動も広域化し、朝晩の交通ラッシュを見てみるとYKKへの通勤者で黒部川を渡る橋が混雑している。この際、行政区画を黒部川以東あるいは黒部川を中心とした一つの



新川スーパー農道 新川大橋(浦山新地内)

市という構想は如何か。21世紀は豊かであっても住めない環境であつては大変だ。緑に覆われた山々、清流ながれる黒部川、無限の幸を与えてくれる日本海、このすばらしい自然環境を破壊することない配慮が必要である。

次に教育、文化、スポーツ等生きがい対策等をどう充実させるかである。飯野小学校の完成も間近だが教育の機会は均等でなければならぬ、残された学校は21世紀までに間に合わせるべきだ。

さて21世紀は高齢化社会という灰色の世紀でもある。子供達に面を見てももらえない老人は現在でも多く見受けられる。仏典の中に「十人の子を養う親はあれど、一人の親を養わざる十人の子あり」という一文がある。家族制度が崩

壊、核家族化が進んだ今日、社会福祉とは居心地よい養老院を増やすことだという発言もある。幸い舟見に温泉が出たということだが寿楽苑一帯を俗界にけがすことなく福祉の天国として療養所あるいは保養所を兼ねた福祉施設を建設したらどうか。

町長

一、戦後40年、日本が戦争にかかわりあいがなかったというのが日本を経済的な繁栄に導いた一つの要因とも考へる。日本の憲法は戦争放棄を宣言しているところだが、戦争のない社会が一番理想の世界だと考へを同じくする。

一、どれくらい行政区域画が一番その地区の住民が幸せになるのかとなる論議が分かれるところだ。一つの地方自治体というものが単独で形態を保ちながら、地区の住民の付託に応じて行政を執行する

というふうな規模というのは、少なくとも財政的な自立というものが一番大切だ。規模が大きくなれば必ずしもその地域の住民が幸せになるといふようには考へていない。大きな行政区画となると木目の細かい行政が失なわれる心配がある。その地区に根ざした文化や歴史や風土というものを大切に行政を行った方がいいのではないか。もちろんその町に必ずしも一つずつ置くことが無駄なもの、例えばゴミあるいは火葬場のよう

な問題は広域処理方法で十分カバーできる。21世紀を展望した新しい町づ

くりの指針として新総合計画を策定し行政執行の根幹としている。また合併30周年にあわせて58年10月に制定した町民憲章と共に将来ビジョンを謳いあげており、その実現に努力している。

一、人生90年時代、21世紀には国民の5人に1人は65才以上になって世界一の長寿国になるだろうと予想されている。従つて高齢化社会に対応する取り組みは最も重要な課題であり、それぞれ生きがいを見い出せるような木目の細かい施策を展開しなければならない。

町政執行に対する基本姿勢について

町政執行に対する基本姿勢について次の諸点を尋ねる。臨調路線の強行は住民生活に深刻な影響をもたらしている中で、町でも行政審議会が設置され三次の提言を受けたが

一、受益者負担の原則に従来以上に導入し、利用料、手数料の値上げは止むを得ない。二、電話交換、庁舎清掃、自動車の民間委託へ促進

三、三才児未満の保育は最少限にとどめ、余剰人員は老人福祉に向ける。これらの様に対処するのか。次に美術品の購入問題だが

舟見に温泉が出て驚いているがその活用について議会とも相談し対応したい。

一、入善町は非常に豊かな自然に恵まれており、町民憲章の中でも「郷土の自然を守り美しい風土を子々孫々に残すこと」これが責務と考へている。

一、学校の整備について大きな財源を要するとはいいながら、教育水準を高めるためには残された学校施設の整備には積極的に取り組むたい。総合体育館についてはなおざりに出来ないと思へている。

九里 郁子 議員(共産)

四、作品選定は規則等公表されてない入善町美術作品管理協議会なる組織がこれに当たるとするが、メンバーでない町長が会議に出席したり、購入作品が一部の作者に片寄っている。正式な選定委員会をつくるなど姿勢をたすべきだ。

五、世界の恒久平和を実現することとは国民の願いであり、核兵器をすく廃絶するなど、「非核入善町宣言」を行うべきではないか。

六、入善駅周辺の国鉄用地は、要望の高い自転車置場や駐車場に必要であり適正な価格で購入された。そのことが国鉄の営業を守ることにしなる。



整備が望まれる平曾川

七、建設省で農業用水の水利利用者から実質的な税を意味する「流水占用料」を徴収する方針を打ち出しているが、大変なことであり町長が先頭に立つて撤回を求めて行くべきと思へう。

八、平曾川河口の流出口の一部は完全にうまって機能を果していない。対応を急げ。

九、行政は町民等しくその施策がゆき届くよう心くばりしなければならぬが、舟見地区に一区所も公園がない。その対応は。

十、老人の生きがい対策として公園施設の清掃など、毎年希望者を登録し高齢者事業の実施を行うべきである。

十一、老人福祉センターがオープンしたが、舟見地区の方は距離的に気軽に使えない。温泉も出たこ

とであり活用と施設計画が必要だ。
 十二、企業との公害防止協定に向けての取り組み状況と富山日電(株)のガス使用の実態を示せ。

町長

一、行政と個人の負担区分のルールは確立しなければならぬが、弱者切り捨てることのないよう心掛けたい。
 二、民間委託した方が経済的で、かつ住民に喜ばれるものであれば検討していかねばならない。
 三、乳児、障害児、延長保育など保護者のニーズに対応できる保育体制の充実と取り組んでおり、保育需要に制限を加えるつもりはない。

四、美術作品の購入経過が不明朗といわれるが、どういう意味か理解出来ない。また郷土作家全部一律に作品を購入するということは予算その他問題がある。
 五、核兵器禁止の問題は、議会でも決議されていることであり基本的に賛成である。

六、国鉄用地は都市計画事業特に中央通り線の改良代替地や駅前再開発上、購入したい。
 七、流水占用料は、農民の負担が重くなるということであり反対だ。
 八、平曾川は入善西部地区界営かたがい排水事業として改修計画をたて55年から実施しているが、国の予算配分の関係で完成が遅れており、一層国や県に働きかけていきたい。

九、舟見山自然公園については、63年度から山村林業構造改善事業

でより一層整備したい。しかし地区公園は58年に地権者の了解を得られなかった経緯もあり理解を頂ければ促進させる。
 十、人材銀行に登録してもらい年寄りの技能や知識を十分活用させることは考えねばならない。

21世紀をめざした 将来構想は!!

福沢 万次 議員(社会)

3期12年議会議員を勤めさせて頂き町民の皆様や関係の方に感謝する。
 さて新聞紙上などを見る限りでは今度の町長選は対抗馬はないようである。柚木町長は引き続き出馬される決意であるが、もし担当された場合の入善町の将来展望について構想を聞きたい。米たる21世紀をめざした将来構想の「活力」と言うには、先ず何から始めてそれをどのように推進しながら、そして町民と一体となった特色を打ち出した明確な目標がなければ新総合計画との意義もつた48年度の一般会計決算23億円が12年度の59年度決算では67億円と実に2.9倍となっている。しかし今後とも健全財政を維持して行くには地方交付税、国庫支出金は伸びない状況下の中で人件費等を含

十一、舟見のコミュニティセンターに併設させるか、新しい物を作るか、温泉源の掘削状況などにもらみ合せ検討したい。
 十二、公害防止協定は担当に検討させている。有毒ガスが使用されているか把握していない。

めた義務的経費が年々確実に上昇している。その分投資的経費が抑制されることになるが、公債比率を含めた長期的財政の見通しをたてる必要はないか。

町長

21世紀を展望する大きな問題として想定されるのは、高齢化あるいは都市化、国際化、教育などではなからうか。今、58年から65年までの8年間の総合計画をつくり実行しているが、21世紀のかけ橋的役割を果しているものと考え、その後の計画というものは行っていかねばならないが、世の中の進展は早く5年や10年やで判断しづらい面もある。しかしいかなる時代が到来しようともその地域の歴史や風土があり、町民のニーズによって特色を出して行かねばならない。例えば環境問題にしても美しい自然と風土は子々孫々まで残さねばならない。あるいは教育においても英語の単語を覚えるより



湧き出る温泉

いじめのない環境づくり、また農業の生産は技術革新の進展で労働時間が短縮されると想定されるがその余暇利用が問題となってくる。今後の行政はソフト面に重きを置いていく必要がある。なお財政問題については十分留意し執行して行きたい。

町長

国土の平均的な均衡のある発展は国民等しく求めており、我々日本といわれる富山県として、地元負担なしあるいは在来線の廃止などを伴わない早期着工を要求して行くべきでないか。従って新幹線は反対だというような態度を強力に打ち出すことは賢明かということになるかと一考を要する。なお提案された意見については十分参考にして対応したい。

問

入善町は47年に公園都市を宣言し町内各地に公園を作った。町民一人当たり面積は国、県平均を大きく上回っていると聞くが、約68%は葛ノ木、青野の河川敷の自然公園であり場所的にも常時利用しにくい。今、舟見山を整備中である

国鉄再建監理委員会の分割民営化の答申が出て北陸新幹線も一応先送りの状況であるが、何年後かに着工された場合を考えると現在のルート変更はできないものと思わなければならぬ。そこで北陸高速自動車道と新幹線に挟まれた地域の対策を長期的展望に立って練っておく必要がある。例えばこの様に不利益をもたらす地区に国庫の施設を誘致するとか、あるいは工場誘致するなど考えるべきでないか。また交通の流れを良く

が抜本的な整備をしなければ効果は上がらない。堀さく中の温泉利用と合わせた開発を図っていくべきでないか。また入善用水に隣接する地域開発に関する請願が出されているが、単に入善用水ばかりでなく今各土地改良区で河川改修をしているので、町もこれ等事業とタイアップして魚つりや、散歩

克雪対策に万全を

板川 清治 議員（自民）

57年の新総合計画策定に向けての住民アンケート調査によれば下水道の整備を願うものが82%を占めている。特に入善地区は91%とその要望が高い。下水道の取り組みについて県下35市町村のうち19が取り組んでいる。さる9月10日の下水道促進デーに当って某新聞では入善と朝日町は計画もないと報道していた。町長では62年に基本計画の策定に入りたいという自民党の代表質問に対する答弁であったが、計画だけでも県下の一

町長

番最後にならないよう早く検討すべきでないか。

下水道の普及率は富山県は18%であり小矢部川流域など県西部が進んでいる。特に黒部川以東は遅れているのは市街地が海に近いということなど地理的に遅れた原因

など出来るよう整備し、町全体が公園となるよう開発を図っていくべきでないか。

町長

舟見に温泉が湧出したことを喜んでおり、その開発や町民のレクリエーションの問題も含めて主旨にそえるよう議会とも相談して行きたい。

でも61年度から基本計画の策定に入りたい。

町長

富山県では、9月全国で初めて雪対策条例を制定されたので県民も克雪対策に期待を持っている。我が町では今年従来のものより高性能なロータリー車を購入することになっていくが、除雪の民間委託に変動は生ずるのか。また入善町には地下水が豊富であるとの調査結果が出されているが、甘んじていては大変なことになる。河川水の利用することも積極的に取り組むべきでないか。また消雪工事についてだが県道だと工事及び維持管理費を要しないのに町道だと工事費の20%及び維持管理費は地元負担であるが、おおむね地元負担はどれ位になっているのか。また近年都市下水路スノーレスと云われる特殊な消雪機能を持った断面水路で下水路と無雪街づくり事業とも合わせて進めている所は井波、八尾、高岡で行なわれているがどのようなものであり、町も取り組むことは出来ないか。

町長

県条例の制定は雪にうち勝つあるいは雪に親しむという考えと、県民にそれぞれ除雪についての責務を明らかにしている。従ってその地域や個人の責任においてやらなければならない問題もあるということを理解願いたい。

建設課長

従来のロータリー車は取り替えによってショベルカーと兼用して



いた。今度購入するのは専用車で、あるが雪が降るなり出動するのではない。当初トラックやショベルカーで除雪するが、だんだん圧雪され機械利用が出来なくなった状態の時ロータリー車を使うことにしている。従って町有の能力がスピード化されるので委託費用は減るものと考えている。また河川水利用については上青小学校通学路で実験しているので61年度でも計画している。地元負担については井戸一本堀ると90万円、消雪の配管と合わせて2千200万円位になり2割の地元負担からすると400万円位となる。個々の負担平均は工事費8万前後、電気料では5千円位である。

町長

今、町には漁村センター、コミ

参考までに

三割自治
地方の時代といわれて久しいところですが、現行の地方自治運営は行政上、財政上から著しく制約され、自主性のないことを訴えるためによく使われています。

地方公共団体は憲法に定める地方自治の本旨に基づいて、地域の実情に即して行政を進める

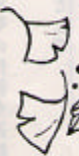
意見書提出

国の地方出先機関である北陸財務局並びに北陸電気通信監理局は統廃合される可能性も残されているが、これらは北陸地方における唯一の事務処理機関であり、地域住民の行政サービスの低

ユニティセンター等それぞれ目的を持った建物があり、また新しく建てられようとしている。しかしそれら各目的のほかに各地区の公民館の機能も果たしているが、管理者のいる所や維持管理方法もバラバラである。建設中の上原の産業展示館また青木の働く婦人の家等含めて維持管理の考え方はあるのか。

町長

維持管理についてアンバランスのないような形で、しかもその地域の実態に即したように検討するよう担当課に指示している。理想的な形とすれば公民館主事が常勤し相談に応ずれば良いが、財政的な問題もあり地域の皆さんとも相談して対応したい。



ためには、自主的に決定する権能を多く賦与されること何よりも重要である。これがためには財源が十分に保障されなければならないが、現状では、自らの責任で処理しようとする行政上の分野が国から制約を受け、財政面では地方収入は歳入の3割程度と少ないところから呼ばれています。

下をもたすものとして存置を図に要請した。また国民健康保険に対する国庫負担が引き上げられたことにより国保財政は税のアップに頼らざるを得ない状況になつてきておりあわせて提出した。

常任委員会審査報告

総務

委員長 佐藤 学 英

意見

一、小、中学校における教材費国庫負担金あるいは公民館指導員設置補助金がカットされてきた。当年度は補助金予定分を町費で賄い足し執行されるが、次年度以降において学校、社会教育の後退のないよう配慮されたい。

一、庁用車及び書類を収納するた

文教厚生

委員長 広瀬 義孝

意見

一、学校の教材備品で従来は国負担となっていたものがカットとなった。教育の重要性を考えると、今後は地方交付税に算入されると

産業建設

委員長 白又 正司

意見

一、道路工事費1千700万円、街路事業3千500万円、災害復旧費6千221万円を中心に産業建設関係費に1億5千400万円支出することになつては、意欲的な投資事業に取組む姿勢として評価すべきである。

一、今回補正対象となつては産業建設関係費のうち補助金は国庫

め庁舎西側に新しく書庫、車庫を建築することになつては、平面図等見ると器具収納庫は2階部分となつては、利用上不便でないか検討する必要がある。

一、防火水槽に汚泥が堆積するのを取水口の砂留処理槽の維持管理を十分行うなど、堆積防止の徹底に十分指導されたい。

一、固定資産税の課税免除の特例措置が法改正によつて設備投資額が200万円アップし1千700万円を超

のことであり、教育実施に支障をきたさないよう配慮されたい。

一、国の補助で行う高齢者生きがい促進事業の活動学級数を減少させられたことは残念なことである。今後このような減額のないよう十分打ち合わせされたい。

一、町民会館建設事業費は21億5

万円、県が3千300万円と歳出の半にして26%である。今回補正は補助金を受けて行う性質とは若干異にしては、面もあるが、国の財政状態の影響も見受けられるので今後の運動に期待する。

一、商工費において街路灯設置補助あるいはセントラルパーキング管理補助など商業の活性化に結びつく補助金が計上してある。今後

も行政からのテコ入れが大切だ。一、都市計画街路東町線の改良に

当つては下流地区を考えた流水対

える額となつたが、企業の育成についで遺憾のないよう指導方願う。

一、朝日町で50床の特別養護老人ホーム有磯苑が建設されることになり当町へも補助金の協力方陳情

が出されているが、高齢化社会における1人暮らし及び在宅寝たきり老人対策として重要なことであり

また舟見寿楽苑に30余名の朝日町出身者が入所されており、朝日町からも支援を頂いた。当然協力す

べきである。

千500万円の範囲で施工することでスタートしたが、スプリングライ

(自動消火装置)の設置あるいは物件移転費に6千400万円増額しな

ければならないことになった。あと少しの経費の節減によつて返

つて将来に過剰を残すことのないようにすべきである。

一、入善用水に隣接する地域開発の請願は町の将来構想の上に立つて取り組むべきである。

一、球根の搬送あるいは西入善駅前と道路舗装に関する2件の請願は、いずれも重要路線であり早急に対応されたい。

第26回 入善町議会 臨時議会

7月26日に開催し入善町産業展示館新設工事ほか2件の工事契約と請願2件を審査可決し閉会した。

入善町産業展示館新築工事

(旧上原小学校跡地に建設) この施設は通商産業省所管の工業再配置促進費補助金の交付を受け町内に立地する企業などの生産する製品を展示しながら企業への理解と各企業の研修の場として活用を図ると共に上原地区のコミュニティ活動の施設として設置する。

建物の構造 鉄筋コンクリート造り2階建 床面積 延21坪 工事費 9千700万円

完成期日 61年3月10日

入善町広域働く婦人の家新築工事(旧青木小学校跡地) 婦人の地位向上と福祉増進に寄与するため労働省所管の勤労婦人青少年福祉施設整備費補助金を受け建設するが、あわせて地区の対話の場としても活用する。

建物の構造 鉄筋コンクリート造り平屋建 床面積 延182坪 工事費 8千400万円

工期 61年3月10日

入善町消防防災無線通信施設整備工事 消防庁の消防防災無線通信施設整備費補助金を受け、平常時の広報活動、並びに風水害、豪雪、地震等の非常災害時における気象予警報、避難、誘導等の情報を連絡することにした。

同時放送設備として 屋外拡声受信局14局 戸別用受信局70局等 工事費 7千190万円 工期 60年12月10日

採択された請願 農村環境改善センター増設に関する請願(飯野) 青木中両公園設置方についての請願(青木)

お願ひします。 〇私達議員の任期も10月29日で任期満了になりました。皆さんのご協力のもと、微力ながらも町の発展と繁栄に尽くすことが出来たものと考えています。厚くお礼を申し上げます。

議会だより編集委員会

編集後記

〇第8期議会議員による最後の定例会となつた9月議会の模様をお知らせします。この議会をもつて勇退を決定された上田義信、上島藤吉、小林与三雄、福沢万次、岩場俊の各議員には本

当に長い間ご苦労さまでした。今後ともご健康で、本町発展のためご協力をたまわりますよう